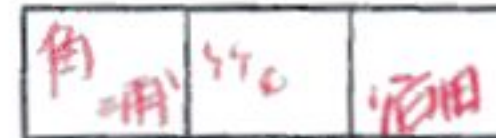


2003年08月17日(日)

看護ワークシート



08/16 13:01

10B03号室 0000992071

河原 文江

57歳

消外

主治医: 原田

看護師: 平内

2A3

【感染症】
【看護】

HBs: ガラス板: TPHA: 不規則抗体: HCV:

測定: T. P. R 2回/1日 ✓✓
BP 2回/1日 ✓✓安静度: 院内自由 ✓
その他 自立度J-1 ✓

寝具: 成人入院 ✓

救護区分: 歩行 ✓

看護度: C4 ✓

その他: コメント 内服確認あさ(1700) ゆう(1700) 脳外内服は自己管理。740ジン5mg錠・リルパ
ス5mg錠: 朝サミオン5mg錠・ケケラルセル15mg2C: 分 2朝・夕

【食事】

朝: 食種→普通食全粥(花)

昼: 食種→普通食全粥(花)

夕: 食種→普通食全粥(花)

【処方】

臨時/頓用 08月17日(日)~08月17日(日) 《53978》 原田 英也

Rp 1)

マグコロールP散

... 頓服

1 包
1 回分

15° (75°)

15時

臨時/頓用 08月17日(日)~08月17日(日) 《53978》 原田 英也

Rp 2)

プルゼニド錠12mg

... 頓服

2 錠
1 回分

21° (170°)

外来/内服 08月12日(火)~08月25日(月) 寝る前 《36827》 高田 久

Rp 1)

アムロジン錠5mg

... 1回: 朝食後

1 錠
14 日分

薬剤情報提供

★ 剃毛

★ シャワー

氏名 河原文江 ①

月日	時	#	S・O (患者の訴え・家族の情報・看護者の観察・データ所見など) A (判断・考察) P (Care行為・指示事項など)	サイン
8/18	9:12	井	S: 目を開きました。	
			口: T 36.6 °C	
			腹部不快なし 腹痛なし	
			嘔吐・下痢なし 反応便あり	
			P: 12:15' プレ入テ	
			12:30' OPE 終了	津田
17:40		井	C: 20:45' 挿管したまま RR 1に着床した R音あり? SPO2 感知せず 97~96% (挿) 白色痰少量あり (口) 唾液痰少量あり T 35.5 ~ 35.8 °C HR モータ - 上 100~120拍 口呼吸かけにて反応なし しょうも反射なし BP 角虫診できず。アモールル角虫知可。 BP 80/ mmHg (AラインFII) D-P: FFP 全開で。PC MAP オ-グ-しまる。ア-フ-エ-モ。7X10=250 O: FFP 投与にて BP 110/ mmHg まで上昇。 また、口呼吸かけに対し反応あり。手足を動かはじめてため、FIP 抑制実施。 口唇汚染あり。仙骨部前面⑩⑪のドレニより血性(フレッツ)汚染あり。ドレニより血性汚染のものを流れ出している。 FFP PC の投与にて BP 110~120/ mmHg まで 安定。SPO2 97% 末梢冷感・47.1℃ 著明 口唇も蒼白。 23:00 過ぎ 顔面蒼白になり、口呼吸かけに対し反応あり 対光反射 (右) あり (左) 緩慢 しょうも反射なし。 BP 80/ mmHg まで低下する。D-P: MAP 全開で投与開始。 MAP 全開で投与開始。レベルが徐々に 改善、顔色も少し良くなる。D-P: ホ-エ-ク-実施 (10E) BP 110 ~ 120/ mmHg まで上昇する。 尿 OP: 12:00 ~ 12:32 ~ 12:32 ~ 1.0/2 45 (+) 7.7 (-) 創部正中部よりクリア。発赤・腫脹なし。 ストマ暗血色 ストマより少量の出血あり。 仙骨部前面⑩⑪ドレニより total 2349g 血性のものあり。	井-ボ-9000 SIMV(10)+P5 PL(10) MV8.0 FIO2 0.5 R20 PEEP 0 ml-2 全開で 投与

(看護経過録1)

1999. 11. 看護部

氏名 河原文江 ②

4-74908C
SIMV(10) rPS PL(10) rvl-2
MKS OF: 0.20.5 R 20 peep 0

月日	時	#	S・O (患者の訴え・家族の情報・看護者の観察・データ所見など) A (判断・考察) P (Care行為・指示事項など)	サイン
8/18	10:10	71	0 = 0 E O I TIL Mx 2 ml 230 20' 血ガス 胃管 PC 276.3 PLO 23.1 PH 7.330 BE -13.3 HCO ₃ 11.9 TCO ₂ 12.6 Na 155.9 K 2.39 (Dr-P 10' 血ガス PO ₂ 249.0 PCO ₂ 34.5 PH 7.414 BE -2.3 HCO ₃ 21.5 SO ₂ 49.7 tHb 15.1 Na 159.3 K 2.50 Dr-P Na ⁺ ↑ x1=変更 (10XT2500 KCL/A 3F+1A②) 検査結果 2003/08/18 21:00 RBC: 2.45 × 10 ⁶ /μl, Hb: 7.5 g/dl Ht: 21.4 %, MCV: 87.4 fl, MCH: 30.6 pg MCHC: 35.0 %, MNC: 10.18 × 10 ³ /μl PLTS: 26 × 10 ³ /μl, Na: 156 mEq/l K: 3.0 mEq/l, Cl: 103 mEq/l, Ca: 7.9 mg/dl BLN: 9 mg/dl, クレアチン: 0.61 mg/dl 総タンパク: 2.9 g/dl, 総ビリルビン: 1.2 mg/dl 直接ビリルビン: 0.3 mg/dl, LDH: 272 U/l AST: 31 U/l, ALT: 17 U/l, CK: 139 U/l アミラーゼ: 298 U/l, グルコース(ブドウ糖): 385 mg/dl 0 = イ山骨部全前 ①① F11. アトムチ-7" 挿入し、持続吸引かけると、効果 あり。わきより流出してくる。状態安定せず 結 持続吸引中断し、5a保つ の4とある。 P = FFP 20E PC 30E MAP 20E 投与 5% TIL 7"シフト - 250.2 投与。 Dr-P-GTA 友。0 及 様 右ソケイより Aライ: 確 入めかえ 右下肢より 20G P-F 挿入。 8/18 10:40 71 (血圧聴診(聴) 正中①) 胸に刺さるが 測定できない。 動脈血で監視ある。MAP 投与中。 Bp (聴) 120/82 ~ 130/78 mmHg. 呼吸音に反応あり。しつかり NSの音をいつか 何れを言おうと 呼吸で訴える "ち、ち、く" と書く。 Drからの "痛いかな?" の声かけにうなづき、苦痛表情ある。 このため Dr 指示にて 230' 止める① 効果効果なく 240' F11に1A/NS20 ml を 10ml ① する。 これにて、入眠。体動なくなる。サボ設定 VC に変更。すかり サボに同調する。Sat 29.8 ~ 100% まで 末梢冷感著明にあり。 呼吸 R 音: L clear 清 (挿) 痰極少量のみ Bp 98/56 ~ 94/54 ~ 102/58 mmHg (聴) (聴) (聴) E-T ESR 110代 ~~Dr-P-GTA 友。0 及 様 右ソケイより Aライ: 確 入めかえ~~ ~~右下肢より 20G P-F 挿入。~~ 215' ABG CO ₂ 37.3 CO ₂ 36.5 PH 7.310 BE -7.2 SO ₂ 99.7 Hb 20.9 ID 42	

Dr-P = 250.2 全閉
投与して下さう。
7:20 23
Dr-P-GTA
0.5 4 7" =
外より 250
投与する。

230' VC
MV 80 RR:
FID 20.4 A

(看護経過録 1) 99.9% 看護部

H-F900 V_L F.020.4
 MV80 RR20
 Peepo H1A-2

氏名 河原文江③

月日	時	#	S・O (患者の訴え・家族の情報・看護者の観察・データ所見など) A (判断・考察) P (Care行為・指示事項など)	サイン
8/19	10:00	#3	~~血圧値~~ F020.4人 肺A207ネターと昂いて 輸血(MAP)速度430ml投与する。(DI指示にて) X10/250ml DEIV (3100ml) しかり40%より 心拍数SR HR 30~140代 になる。 BP (心拍) 110/ mmHg から 90/ mmHg まで低下する。 仙骨部屈曲(ドレーン) 出血がわかる。おさまれば、流水出て いる状況。CPE后 トナル 3255g (血性) DI押入 MAP速度 100UP またアより FFPもスタートする。 しかり BP 90/ mmHg かわらぬ。 意識はIV ~~100~~ JLS 200~400 大きな刺激にて 30秒 閉眼するのみ。 (これはドレーンのせいかもしれない。) しかり 閉眼している。 文脈反射あり 睫毛反射なし。 尿 912~400~304 ml/2hour トナル 2848ml V9mm H₂O (-) CVP 変動なし A 出血が止まっている状況。おさまる気配なし。とんとん輸血も投与している が 血圧保てず。 朝のデマです。かなり。トナ口血である。 このままでは 血圧の危険もあるのでは。 P. X10/250ml DEIV 投与 5回 C B₁₅ 470 → 396 → 432mg/dl P. H1A HR 30E 追加 トナル 40EA H1A HR 10E 追加 トナル 50EA 90' HR 10E (IS)	
			検査結果 2003/08/19 06:00 HbC: 6.88 × 10⁻⁶/μl, Hb: 20.7 g/dl Ht: 80.1 %, 血球容積: 87.3 fl, 血球容積: 30.0 pg MCHC: 34.4 %, MCV: 10.28 × 10⁻³/μl PLTS: 78 × 10⁻³/μl, Na: 158 mEq/l K: 3.7 mEq/l, Cl: 106 mEq/l, Ca: 6.6 mg/dl BUN: 13 mg/dl, クレアチニン: 0.80 mg/dl 総タンパク: 3.8 g/dl, 総ビリルビン: 1.8 mg/dl 直接ビリルビン: 0.7 mg/dl, LDH: 1037 U/l AST: 142 U/l, ALT: 47 U/l, CK: 389 U/l アミラーゼ: 1198 U/l, グルコース(ブドウ糖): 562 mg/dl	
			以上	

2003年08月18日(月)

看護ワークシート

774 津重 谷川

08/17 20:41

10B03号室 0000992071

河原 文江

57歳 消外

主治医: 原田
看護師: 平内

【感染症】
【看護】

HBs: ガラス板:

細菌ほか

2003年08月18日(月) 14:00

消外 10階B

腹水

タンパク

測定

T. P. R 12回/1日

BP 12回/1日

蓄尿

安静度

その他 自立度J-1

ベッド上 ギャッジアップ

看護処置

その他 G交 ()

交換

IVH-回路

教育指導

その他 深呼吸指導 S () N () J ()

寝具

成人入院

病衣

M

看護区分

担送

看護度

A1

手術実施日

手術実施 低位前方切除術予定

単日コメント

コメント 朝: 7時内服アムロジン (774) GE洗腸 (774) 術前にコブリンネットプロはかせてください

【食事】

朝: 食種→欠食

昼: 食種→欠食

夕: 食種→欠食

【検体検査】

あり

【処方】

臨時/外用

08月18日(月)~08月18日(月)

《53978》

原田 英也

グリセリン洗腸「オラタ」60

1

個

【外用】外用用法

外来/内服

08月12日(火)~08月25日(月)

《36827》

高田 久

Rp 1)

アムロジン錠5mg

1

錠

1回: 朝食後

14

日分

薬剤情報提供

【注射】

08月18日(月)

《53978》

原田 英也

点滴注射

ヴィーンD 500mL

1

瓶

... 1日

2

瓶

点滴注射

生理食塩液 100mL

1

瓶

ガスター注 20mg

1

瓶

... 1日

1

瓶

【手術申込】

《48791》

中野 泰治

体重→

50

Kg

なし

直腸S字結腸切除術(前方切除術)

特になし

高島 茂樹

原田 英也

長谷川 泰介

今泉 英子

12:30 入室時刻→2003年08月18日(月) 12:30

開始時刻→2003年08月18日(月) 13:30

所要時間→2時間30分

直腸k

碎石位

麻酔科依頼→全麻

ゲフリール

【輸血予約】

《53978》

原田 英也

血液型→A型

Rh (+)

直腸癌

赤血球MAP

使用場所→本館3階手術部

使用予定→2003年08月18日(月) 14:00

当日定数注 2003年08月19日(火)

消外 10階B

1)

中心静脈注射

ブドウ糖10%500mL

3 瓶

アトナ注 100mg

1 A

KCL注 15%20mL

1 A

... 1日

1 回

【依頼医: 原田 英也】

6 単位

5/16 支那提出済

予約定数注 2003年08月18日(月)

消外 10階B

筋肉内注射

ドルミカム 10mg

... 1日

2 mg

1 回

12/15(津重)

【依頼医: 高島 茂樹】

1-

4-2000 VLE F10-204
R14 MV10 P240
T1-2

氏名 河原 文江 (1)

月日	時	#	S・O (患者の訴え・家族の情報・看護者の観察・データ所見など) A (判断・考察) P (Care行為・指示事項など)	サイン
3/9	9:00	#2	0. 4-ポカ設定変更あり MV7.0 R16A 9:00 トラウマの出血が49ml程度でコントロールあり。(約30~40分) BP 120/80 入アナル留置あり 出血止まらず 処置後 1-ポカ47 10:30 便あり 腹部膨満あり 結果: 左内腸骨 Aからの出血あり 13:00 1-ポカ47 R-R 117/64-116/64 BP 88/51 ~ 88/59 ~ 66/42 ~ 60/40 80/40 ~ 102/60 ~ 116/52 ~ 110/60 ~ 100/50 47 14:00 R16 143.5 MV 4.4 Hb 12.3 g/dl P15 3300 上記値より MAP 65 台 本レボ77% 徐脈に準ずる BP 上昇 WBC MAP 急速に上昇する傾向 47% あり T 36.4 → 37.7℃ P-PT 122 出血あり 1-ポカ47 あり 47% あり トルカ 416.5 g 16:00 R16 400.5 Hb 12 Ht 33.6 P15 9500 本レボ 0.4 FFP 200, MAP 10.5, PC 206 P15 0 1. 1-ポカ47 あり トラウマ 400g/131.4ml 10% あり 開始あり BS Hb 10.5 → 10.5 あり 1-ポカ 47 (1000g) (22 BS 240-47) あり X110 H10E (A) H10E (S) あり T2 21-R 尿 100-100-70-470 ml / 830 ml US (H) あり 胃管 100ml 茶色 P15 15 便あり 1-ポカ 47 あり P15 47-47-A/15100 D10 X102250 D10 1-ポカ 47 あり 圧迫解除あり V12部 A21.5 あり 47% あり 17:00 #3 0. 4-ポカ 90EC 設定変更あり 19:30 ~ SIMV (8) + PS (14) PP 16 回/分 (VCI=2.5:TD=14R) 1-ポカ 47 あり 変更後 PP 12~16~17~12~14~16 回/分 17:00 R 音 ほぼクリア TV 440 ~ 1-ポカ 47 あり 白色 47% あり 極少量 SAB= 99 ~ 93 ~ 97 % 本レボ 471-47% あり BP 120/66 - 104/62 - 96/46 - 108/66 - 100/58 - 116/62 - 108/68 - 100/62 - 110/62 mmHg E=9-15 HR 120 ~ 130 あり 尿 01300 (16~20) ~ 460 ~ 340 ml / 2h Total 2430 ml (R) 1.024 US (-) 47% (-)	

(看護経過録1)

1999. 11. 看護部

10B11号室 0000992071 河原 文江

主治医: 原田
57歳 消外 看護師: 平内

【感染症】 HBs: ガラス板: TPHA: 不規則抗体: HCV:
 【看護】
 測定: T. P. R 12回/1日
 BP 12回/1日
 蓄尿
 安静度: その他 自立度J-1
 ベッド上 ギャッジアップ30°
 看護処置: その他 G交()
 交換: IVH-回路
 教育指導: その他 深呼吸指導S() N() J()
 寝具: 成人入院
 病衣: M
 救護区分: 担送
 看護度: A1
 手術実施日: 手術実施 低位前方切除術予定
 単日コメント: コメント 朝: 7時内服アムロジン() GE浣腸() 術前にコブリネットプロはかせてください

【食事】 朝: 食種→欠食 昼: 食種→欠食 夕: 食種→欠食
 【移動】 13:30 <転室> 10階B 10B11 一般消化器

【検体検査】 あり
 【処方】

臨時/外用 08月18日(月)~08月18日(月) 《53978》 原田 英也
 グリセリン浣腸「オラタ」60 1 個
 【外用】外用用法
 外来/内服 08月12日(火)~08月25日(月) 《36827》 高田 久
 Rp 1)
 アムロジン錠5mg 1 錠
 1回: 朝食後 14 日分
 薬剤情報提供

【注射】

08月18日(月) <実施済> 《69604》 林 圭
 筋肉内注射
 ドルミカム 10mg 2 mg
 . . . 1日 1 回

08月18日(月) <実施済> 《53978》 原田 英也
 点滴注射
 ヴィーンD500mL 1 瓶
 . . . 1日 2 回
 点滴注射
 生理食塩液100mL 1 瓶
 ガスター注20mg 1 A
 . . . 1日 1 回

08月18日(月) 《53978》 原田 英也

中心静脈注射
 ソリターT1号500mL 1 瓶
 アドナ注100mg 1 A
 アデラビン9号 1mL 1 A
 ネオミノファーゲンC 20mL 2 A
 アギフトールS100mg 2 A
 . . . 1日 1 回

中心静脈注射
 FOY500mg 3 瓶
 ソリターT1号200mL 1 瓶
 . . . 1日 1 回

朝まで
 静脈内注射
 ミラクリッド 5万単位 1mL 2 A
 . . . 1日 3 回

中心静脈注射
 フルマリンキット1g生食100mL 1 瓶
 . . . 1日 1 回

中心静脈注射[精密]
 プレドバ注600mg 200mL 1 袋

ope前

ope後

①の汁(角三瓶)

~6°(角三瓶)

22°(角三瓶) 1°(角三瓶) 3°()

22°(角三瓶)

氏名 河原文江 ②

4-Ji900c FiO2 0.4
SIMV(8)+PE(14)
MV7.0 R16 PEEP0

月日	時	#	S・O (患者の訴え・家族の情報・看護者の観察・データ所見など) A (判断・考察) P (Care行為・指示事項など)	サイン	TV-2
8/19	17-18	#3	1枚投与 D: T 38.2 ~ 38.1 ~ 37.8 ~ 38.9 ~ 39.8 ~ 39.8 ~ ~~39.2~~ 39.2 °C Ca 少量汚染あり (血性) 24 g / ~~2189~~ 2189 g 胃管 600 ml ② (うす茶血性) ガル音聴取できず 肺満程度あり 胸パルプ内 血性のもの少量のみ 嘔気・嘔吐なし BS 313 → 184 → 150 → 140 mg/dl 22° 採血データ RBC 442万↑ Hb 13.2↑ Ht 37.2↑ PLTs 8万7千 K 3.1 NA 165 A: アニオカ施行にて止血されている様子 Bpも安定してきている。 ~~BS 111 111~~ P: 18° HR 10 E ①S 23°30' Ga交 (21枚) 7-11=7 強化 17°40' x40=1A ①m 21°50' x40=1A ①v Dr-p 1073 ml R 500ml 全開で投与 FFP 2E 投与 117°10' 200DE x25 5% R117ミナ 250ml 1本 1-9-あり 22°10' ~ 5% F2 500ml / x40=1A ①x 5H7°DILV 147°10' (600) 8/H → 5/H → 3/H (腎血流量保つため) 177°10' 72 400mg/15 8/H → 5/H → 3/H 8/20 ~ 抗生剤 カルベニン A 変更 O: 声かけにてうなづきあり 指示動作OK 147°10' 修正なし		
8/20	10-9	#3	D: Bp 110/63 ~ 100/61 ~ 100/58 ~ 100/52 ~ 120/58 ~ 120/56 ~ 102/50 ~ 92/50 mmHg 1枚投与 E27-CHR 120 ~ 100 ml 尿 230 ~ 280 ~ 120 ml / 3060 ml 11023 USC(-) 11-(-) 胃管 600 / 1200 ml DEXTAL 胸部MR: 44 出血汚染少量あり 2-2 出血汚染あり 2-2 27°あり 便血 147°10' 修正なし T 39.3 ~ 38.6 ~ 38.2 ~ 38.2 °C BS 211 mg/dl		吉田
					井

(看護経過録1)

1999. 11. 看護部

10B11号室 0000992071

河原 文江

57歳

消外

主治医: 原田

看護師: 平内

..... 1日

中心静脈注射[精密]

ノルアドリナリン 1mg 1mL

生理食塩液 100mL

..... 1日

静脈内注射

ソル・メドロール 500mg

..... 1日

08月18日(月) 《53978》 原田 英也

中心静脈注射

アルブミン 5% 250mL

..... 1日

【手術室】 20:00 《53978》 原田 英也

業務時間外検査選択

「部位」→胸腹部

「方法」→手術室撮影

正面

<主訴・検査目的・疾患名>

IVH先端確認

術後

感染症(無)

【病理検査】 《53978》 原田 英也

細胞診検査(その他)

腹腔洗浄液

【手術申込】 《48791》 中野 泰治

体重→

50 Kg

なし

直腸S字結腸切除術(前方切除術)

特になし

高島 茂樹

原田 英也

長谷川 泰介

今泉 英子

12:30 入室時刻→2003年08月18日(月) 12:30

開始時刻→2003年08月18日(月) 13:30

所要時間→2時間30分

直腸k

碎石位

麻酔科依頼→全麻

ゲフリール

【輸血予約】 《53978》 原田 英也

血液型→A型 Rh(+)

直腸癌

赤血球MAP

6 単位

使用場所→本館3階手術部

使用予定→2003年08月18日(月) 14:00

【輸血予約】 《66298》 野村 祐介

血液型→A型 Rh(+)

直腸癌

赤血球MAP

10 単位

使用場所→本館3階手術部

使用予定→2003年08月18日(月) 16:50

【輸血予約】 《66298》 野村 祐介

血液型→A型 Rh(+)

直腸癌

赤血球MAP

6 単位

使用場所→本館3階手術部

使用予定→2003年08月18日(月) 16:30

【輸血予約】 《66298》 野村 祐介

血液型→A型 Rh(+)

直腸癌

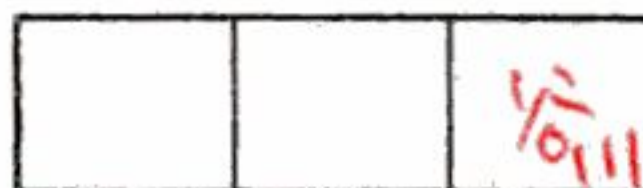
新鮮凍結血漿

20 単位

使用場所→本館3階手術部

使用予定→2003年08月18日(月) 18:00

【輸血予約】 《53978》 原田 英也



1 回 (中絶)

10 A

1 瓶

1 回

2 瓶

1 回

1 瓶

1 回

アルブミン5% 250mL

製造番号: 3E068C

x1

この

22Eは

ope室でスミ

A型24-3521-6893

A型24-3521-6896

A型24-3321-4846

A型24-3321-4845

A型24-3321-4840

A型24-3521-6897

A型24-3321-4861

A型24-3321-4854

20Eのうち10Eはope室でスミ

20Eのうちの10Eは10Bで!

氏名 河原 貞江③

1999. 11. 看護部